



# Cisco SD-Access ネットワークへの Wide Area Bonjour の導入

- [Wide Area Bonjour ネットワーク上の Cisco SD-Access について \(1 ページ\)](#)
- [Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モード \(1 ページ\)](#)
- [ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを備えた Cisco SD-Access \(5 ページ\)](#)
- [ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを備えた Cisco SD-Access \(9 ページ\)](#)

## Wide Area Bonjour ネットワーク上の Cisco SD-Access について

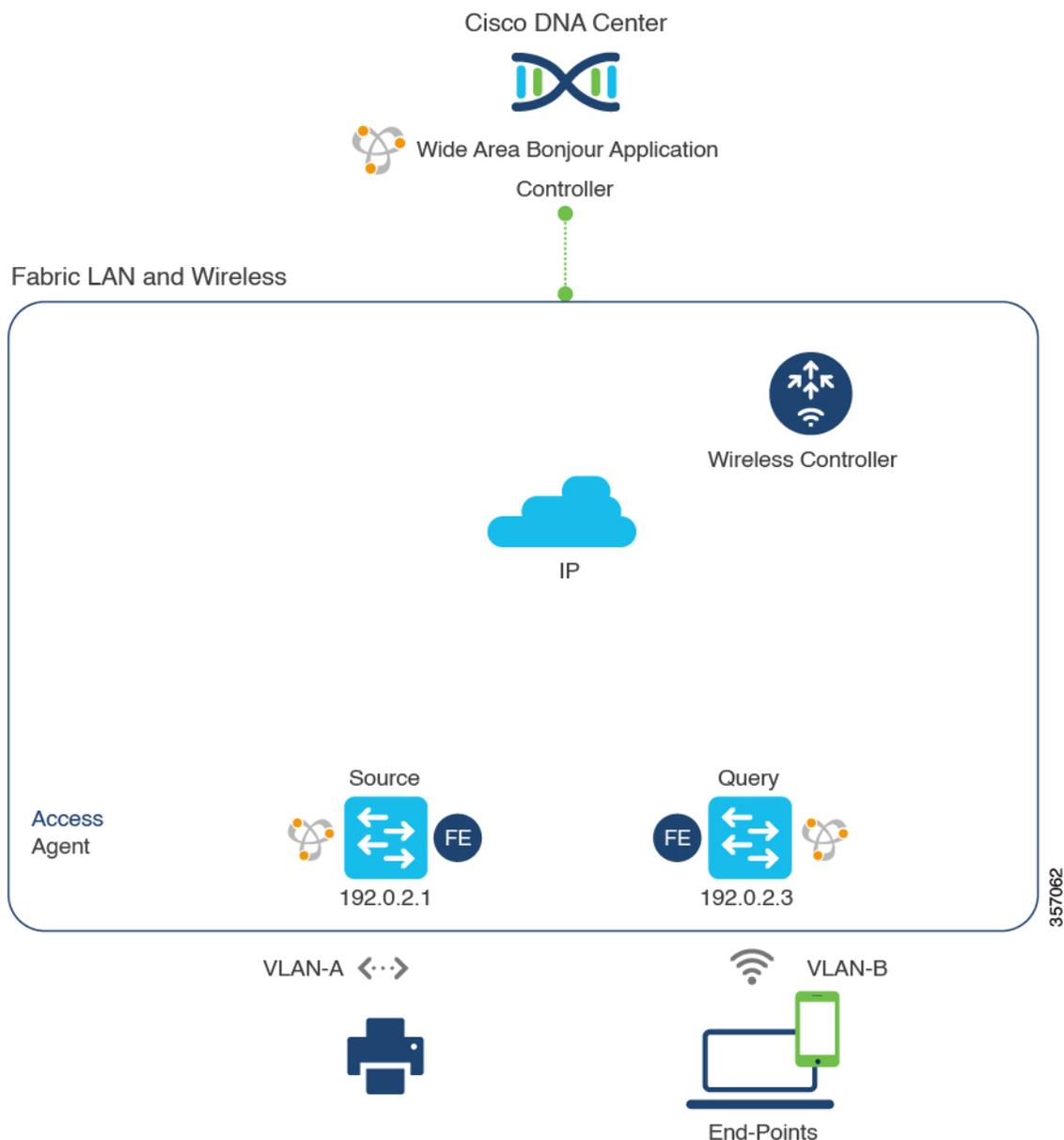
Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、さまざまなタイプの Cisco SD-Access 有線およびワイヤレス LAN ネットワーク導入モデルをサポートしています。この章では、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションにグローバル サービス フィルタ ポリシーを導入するための手順を詳しく紹介します。これにより、レイヤ2フラッド境界を拡張することなく、仮想ネットワーク環境でネットワークレベルのサービスルーティング機能を利用できるようになります。

## Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モード

この項では、ファブリックエッジ LAN スイッチ間で Wide Area Bonjour を有効にし、ファブリック対応のワイヤレスネットワーク経路でリモート接続したワイヤレスユーザーに対してさまざまな Bonjour サービス（有線プリンタなど）を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、Cisco SD-Access LAN とファブリックモードのワイヤレスネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。仮想ネットワーク環境内に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 1: Cisco SD-Access LAN およびファブリック対応ワイヤレス仮想ネットワークのサービスルーティング



Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラの設定時の注意事項については、『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide, Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x](#)』を参照してください。

## Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードのサービスフィルタの作成

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- 
- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
  - ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
  - ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
  - ステップ 4 トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。  
  
このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
  - ステップ 5 [Create Service Filter] をクリックします。
  - ステップ 6 [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
  - ステップ 7 サービスフィルタの一意の名前を入力します。
  - ステップ 8 (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
  - ステップ 9 アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
  - ステップ 10 サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは、サービスフィルタは有効になっています。
- 

## Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードの送信元 SDG エージェントの設定

この項では、SDG エージェントロールの LAN ファブリックエッジスイッチ 1 から有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順について説明します。有線プリンタは、SDG エージェントロールのファブリックエッジスイッチからリモート接続したワイヤレスユーザーによって検出できます。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリ SDG エージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードのクエリ SDG エージェントの設定 \(4 ページ\)](#)」を参照してください。

### 始める前に

「[Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードのサービスフィルタの作成 \(3 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- 
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (192.0.2.1) を選択します。
- ステップ 4** ポリシー拡張ノードを使用している場合は、[Service Layer] ドロップダウンリストから [Peer] を選択します。ポリシー拡張ノードを使用していない場合は、[Local] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A) を選択します。
- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 10** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。
- 

## Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードのクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードの送信元 SDG エージェントの設定 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

### 始める前に

「[Cisco SD-Access LAN およびワイヤレス ファブリック モードのサービスフィルタの作成 \(3 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

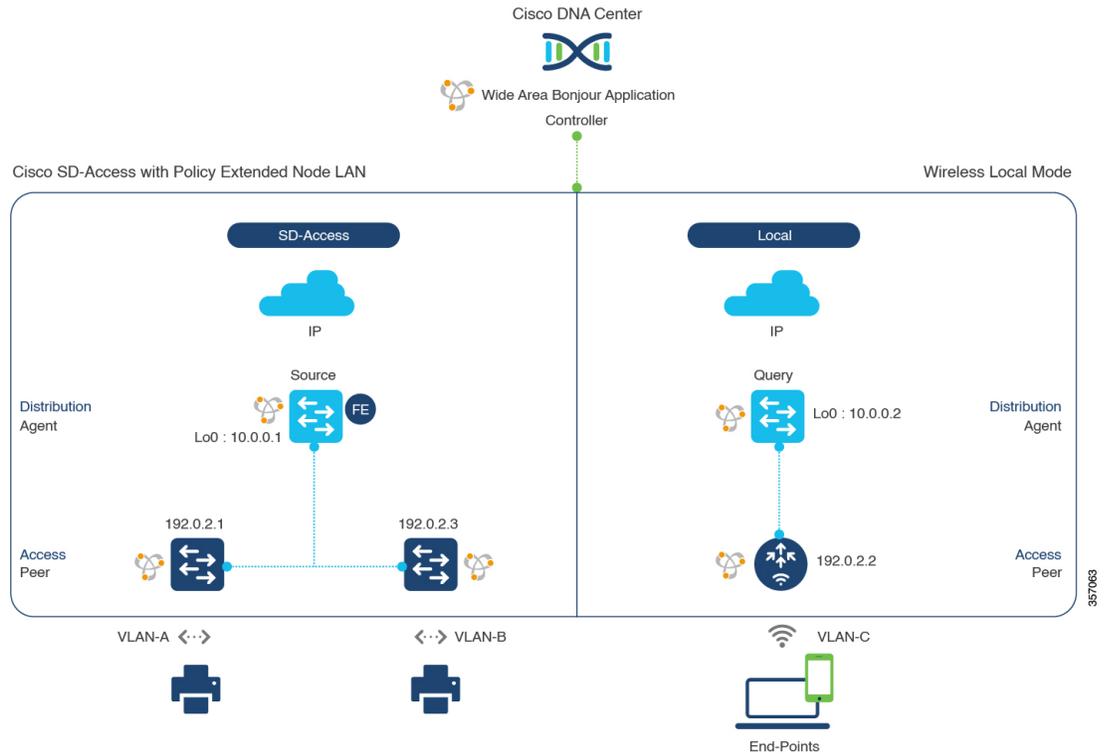
- 
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、クエリ SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス（プリンタ）のクエリを受信する SDG エージェント（192.0.2.3）を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Local] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスがオフになっていることを確認します。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークにサービス（プリンタ）を配信するには、クエリ VLAN（Vlan-B）を選択します。
- ステップ 7** 選択したクエリ IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択したクエリ IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタムロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 10** （オプション）クエリエージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。（前の手順を繰り返します。）
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。
- 

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを備えた Cisco SD-Access

この項では、レイヤ 2 アクセスのポリシー拡張ノードを備えた Cisco SD-Access LAN で Wide Area Bonjour を有効にし、ローカルモードのシスコワイヤレスアクセスポイントを使用してワイヤレスネットワーク経由で接続したユーザーに対して Bonjour サービス（有線プリンタなど）を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、ポリシー拡張ノード LAN とワイヤレス ローカル モード ネットワークを使用した Cisco SD-Access の参照用ネットワークトポロジを示しています。ファブリックと外部 IP ネットワーク全体に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 2: ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードのネットワーク サービス ルーティングを使用した Cisco SD-Access



Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラの設定時の注意事項については、『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)、[Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.x](#)』を参照してください。

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
- ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。

- ステップ 4** トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。
- このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5** [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6** [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。
- ステップ 7** サービスフィルタの一意の名前を入力します。
- ステップ 8** (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ 9** アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ 10** サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは、サービスフィルタは有効になっています。

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access の送信元 SDG エージェントの設定

この項では、SDG エージェントロールの LAN ファブリックエッジスイッチ 1 から有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順について説明します。有線プリンタは、SDG エージェントロールのファブリックエッジスイッチからリモート接続したワイヤレスユーザーによって検出できます。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリ SDG エージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access のクエリ SDG エージェントの設定 \(8 ページ\)](#)」を参照してください。

### 始める前に

「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定 \(6 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (192.0.2.1) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A) を選択します。

- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタム ロケーション グループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 10** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] ボタンをクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 11** [DONE] をクリックします。
- ステップ 12** [CREATE] をクリックします。

---

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access のクエリ SDG エージェントの設定

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

送信元 SDG エージェントを設定する手順については、「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access の送信元 SDG エージェントの設定 \(7 ページ\)](#)」を参照してください。

### 始める前に

「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレスローカルモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定 \(6 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- 
- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) を通知する SDG エージェント (10.0.0.2) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-C) を選択します。

- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.2) を入力します。
- ステップ 10** プラスアイコンをクリックして、サービスピア (192.0.2.4) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 11** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 12** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

### 次のタスク

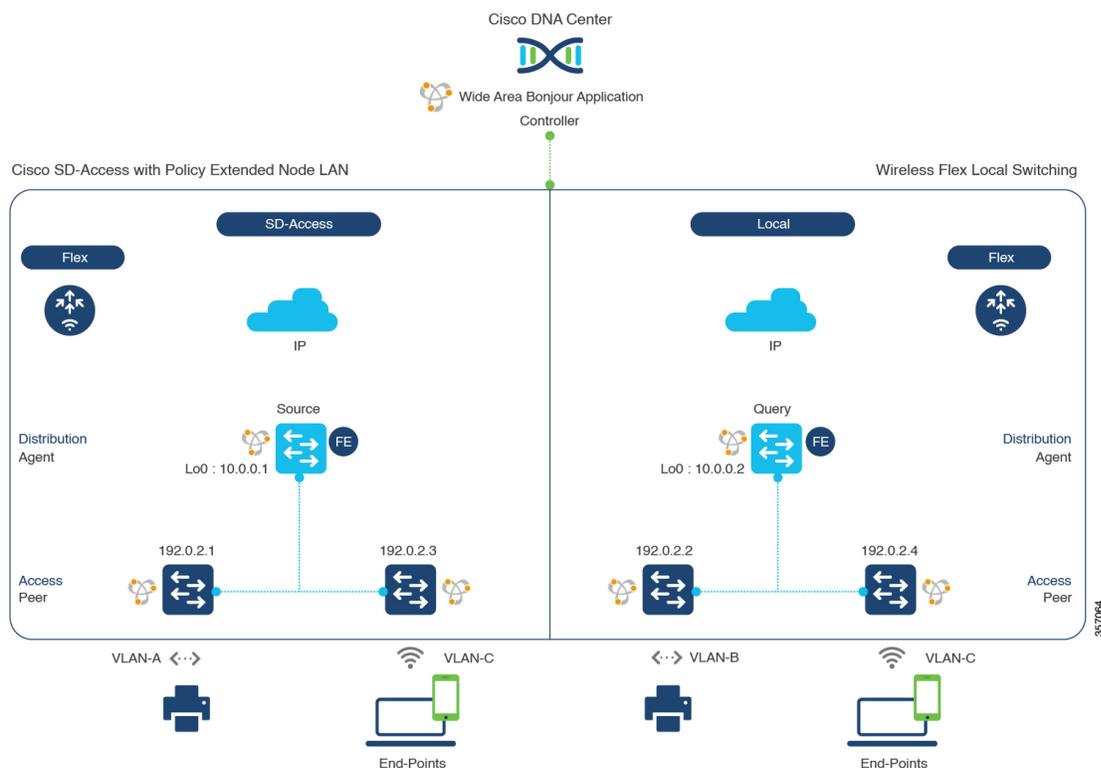
送信元のファブリックエッジ 10.0.0.2 およびピア 192.0.2.2 からのプリンタサービス検出を許可する新しいリバースサービスフィルタを作成し、リモートクエリを実行するファブリックエッジの SDG エージェント 10.0.0.1、およびピア 192.0.2.3 に接続されたワイヤレスユーザーにサービスを配信します。

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを備えた Cisco SD-Access

この項では、ポリシー拡張ノード LAN を備えた Cisco SD-Access 上で Wide Area Bonjour を有効にし、FlexConnect ローカルスイッチングモードのシスコワイヤレスアクセスポイントを使用してワイヤレスネットワーク経由でローカルまたはリモート接続したワイヤレスユーザーに対して、Bonjour サービス (有線プリンタなど) を提供するためのグローバル設定ポリシーのガイドラインを詳しく紹介します。

次の図は、ポリシー拡張ノード LAN を使用した Cisco SD-Access とワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードネットワークの参照用ネットワークトポロジを示しています。仮想ネットワーク環境内に Bonjour の送信側と受信側デバイスがあります。

図 3: ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードのサービスルーティングを備えた Cisco SD-Access



## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定

この項では、グローバルサービスフィルタを導入するための一般的な手順を紹介します。このフィルタにより、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションは、IP ネットワーク全体の信頼できる Cisco Catalyst SDG エージェントスイッチ間でサービス情報を動的に検出して配信できます。

- ステップ 1 Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションの [Configuration] タブに移動します。
- ステップ 2 サイドバーから、サービスフィルタを作成するサブドメインを選択します。
- ステップ 3 [Service Filter] ボックスがオンになっていることを確認します。
- ステップ 4 トポロジからサービスフィルタアイコンをクリックして、選択したドメインのサービスフィルタのリストを表示します。  
このリストから既存のサービスフィルタを手動で編集することもできます。
- ステップ 5 [Create Service Filter] をクリックします。
- ステップ 6 [Network Mode] ドロップダウンリストから、[Traditional] (デフォルトモード) を選択します。

- ステップ7 サービスフィルタの一意的な名前を入力します。
- ステップ8 (オプション) サービスフィルタの説明を入力します。
- ステップ9 アナウンスとクエリを許可する 1 つ以上のサービスタイプを選択します。
- ステップ10 サービスフィルタを作成後、有効または無効にします。デフォルトでは、サービスフィルタは有効になっています。

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access の送信元 SDG エージェントの設定

この項では、サービスピアロールのレイヤ 2 Catalyst スイッチとペアになっているファブリックエッジ SDG エージェントの LAN ディストリビューションブロック 1 スイッチから有線プリンタソースを検出できるようにするための追加の設定手順を示します。

単方向のサービスフィルタにより、運用や管理の目的でネットワーク全体にわたってサービスを検出できます。ただし、クエリ SDG エージェントを設定しない限り、サービスを IP ネットワーク全体に配信することはできません。クエリ SDG エージェントを設定する手順については、「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access のクエリ SDG エージェントの作成 \(12 ページ\)](#)」を参照してください。

### 始める前に

「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定 \(10 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ1 ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ2 ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ3 [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) をアナウンスする SDG エージェント (10.0.0.1) を選択します。
- ステップ4 [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ5 [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ6 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-A および Vlan-B) を選択します。
- ステップ7 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。

- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.1) を入力します。プラスアイコンをクリックして、ピア (192.0.2.3) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] を選択します。
- ステップ 10** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 11** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 12** [DONE] をクリックします。
- ステップ 13** [CREATE] をクリックします。

## ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access のクエリ SDG エージェントの作成

この項では、ポリシーに基づいてクエリ SDG エージェントにサービスを配信するための追加の設定手順を紹介します。

### 始める前に

「[ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access サービスフィルタの設定 \(10 ページ\)](#)」に示された手順を完了したことを確認します。

- ステップ 1** ウィンドウの右上にある [Add] をクリックします。
- ステップ 2** ラジオボタンをクリックして、送信元 SDG エージェントを選択します。デフォルトでは、送信元のラジオボタンが選択されています。
- ステップ 3** [SDG Agent/IP] ドロップダウンリストから、サービス (プリンタ) を通知する SDG エージェント (10.0.0.2) を選択します。
- ステップ 4** [Service Layer] ドロップダウンリストから、[Peer] を選択します。
- ステップ 5** [Any] チェックボックスをオフにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオフになっています。
- ステップ 6** 特定のネットワークからサービス (プリンタ) を検出するには、送信元 VLAN (Vlan-C) を選択します。

- ステップ 7** 選択した IPv4 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 8** 選択した IPv6 サブネットからのサービスを有効または無効にします。デフォルトでは有効になっています。
- ステップ 9** サービスピアの IPv4 アドレス (192.0.2.2) を入力します。
- ステップ 10** プラスアイコンをクリックして、サービスピア (192.0.2.4) を追加します。選択した VLAN 上の任意のピアからのサービスを受け入れるには、[Any] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 11** [Location Group] で、次のいずれかを実行します。
- 任意のロケーショングループからのサービスを許可するには、チェックボックスをオンにします。
  - ロケーショングループ 0 からのサービスを許可するには、ドロップダウンリストから [Default] を選択します。
  - カスタム ロケーショングループ ID を使用するには、ドロップダウンリストから [Custom] を選択し、ロケーショングループ ID を入力します。有効な範囲は 1 ~ 4096 です。
- ステップ 12** (オプション) 送信元 SDG エージェントをさらに追加するには、[Add Next] をクリックします。(前の手順を繰り返します。)
- ステップ 13** [DONE] をクリックします。
- ステップ 14** [CREATE] をクリックします。

### 次のタスク

送信元のファブリックエッジ 10.0.0.2 およびピア 192.0.2.2 からのサービス検出を許可する新しいリバースサービスフィルタ構成を作成し、リモートクエリを実行するファブリックエッジの SDG エージェント 10.0.0.1、およびピア 192.0.2.3 に接続されたワイヤレスユーザーにサービスを配信します。



- (注) ローカルスイッチングモードの FlexConnect アクセスポイントを使用した Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ では、mDNS の設定は必要ありません。

ポリシー拡張ノード LAN およびワイヤレス FlexConnect ローカルスイッチングモードを使用した Cisco SD-Access のクエリ SDG エージェントの作成

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。